



系統別展示コーナー

昭和59年5月に開館したこけし館は、雄大な蔵王のふもとにあり、まわりの自然と調和したモダンな建物です。東北の伝統こけしと木地玩具5,000点以上を擁し、1F展示コーナーで、系統別に分りやすく展示してあります。他に実演コーナー、販売コーナー等があります。



こけしの絵付け体験

世界に1つだけのオリジナルこけしをつくりませんか。遠刈田系のこけしの描彩に挑戦してみるもよし、フリースタイルで描くもよし、子供から大人まで楽しめます。2Fに最大200人収容可能な研修室があり、教育旅行や団体ツアーの受け入れも可能です。



INFORMATION

個人	大人	350円
	子供 (小中学生)	200円
※未就学児無料		
団体(20名以上)	大人	300円
	子供 (小中学生)	150円
教育旅行	高校生以上	250円
	小中学生	130円
絵付け体験	一般料金	1,000円
	団体(20名以上)	950円
	教育旅行	900円
	※ロウ仕上げコーティング別途1本100円	
※入館料別途		

0224-34-2385
0224-34-2300(FAX)

info@kokeshizao.com

宮城県刈田郡蔵王町遠刈田温泉
新地西裏山36-135



開館時間 09:00 - 17:00 (最終入館16:30)
* 年末年始 (12/29~1/3) 入場は15:00まで

みやぎ蔵王こけし館
(蔵王町伝統産業会館)



みやぎ蔵王こけし館

こけしに出会うと、
何故か心が和む。

Japan Traditional Craft



http://www.kokeshizao.com

こけし館公式オンラインショップ



実演所

事務所

木地山系

頭と胴がつながった作り付けが基本。頭はらっきょう型で髪はおかっぱ。縞模様の着物に前垂れを付けた姿が描かれる。



こけしの12系統

こけしは、産地ごとに形や描彩にそれぞれ特徴があり、その特徴によって、12の系統に分けられます。

その特徴は師匠から弟子へと受け継がれ、次の世代へと伝えられてきました。

津軽系

頭と胴がつながった作り付けが基本。髪はおかっぱ。胴模様にはアイヌの文様やだるま模様、牡丹の花が描かれる。



肘折系

頭が大きく直胴、肩が張り、笑った口元が特徴。胴の地色に黄色が多く使われる。



遠刈田系

「手柄」と言われる頭に放射状の赤い髪飾り。重ね菊、梅、桜、木目柄の模様が多い。

南部系

代表的なものに頭がゆるいはめ込みになったものや、描彩が少ないか、ないものがある。赤ちゃんのおしゃぶりから発展したと言われている。



山形系

頭が小さく胴も細い。四弁の梅や桜の花の模様が描かれている。



鳴子系

頭を回すとキイキイと鳴るのが特徴。肩が張り、御所人形のような前髪。胴には菊やカエデ、撫子などが描かれる。



蔵王高湯系

全体的にどっしりと重厚な作り。重ね菊などが描かれている。



作並系

子供が握りやすいように作られた名残で、頭は小さく胴も細い。鼻はしずく型で、カニ菊と呼ばれる独特な胴模様が描かれている。



土湯系

頭頂部に蛇の目模様、髪にはカセと呼ばれる赤い飾りが描かれる。細めの胴にろくろ線や返しろくろ線が入る。



中ノ沢系

目の周りを赤く塗った、ギョロ目のタコ坊主が有名。胴には牡丹や桜が大胆に描かれている。



弥治郎系

頭模様と胴体にろくろ線模様が入り、ベレー帽を被ったようだとされている。胴はくびれたものがあり、襟や裾模様が描かれている。



伝統こけし

こけしは、東北の山村に住む木地師たちによって作られた木地玩具で、温泉場と深いつながりを持ち、江戸時代末期に発生したといわれています。こげす、きぼこなど、温かみのある東北訛りで呼ばれるようになり、子供たちのよき遊び相手であり、幸せを守る玩具となりました。

頭部と胴部だけの構造に単純な目鼻をあしらっただけの玩具ですが、こけしは何よりも表情がいのち。そこに想いがあるからこそ、伝統的な愛らしい表情が生まれます。



遠刈田こけし

遠刈田系こけしは、遠刈田温泉を中心として発達しました。現在、発生年代が最も古いといわれており、こけしそのものが遠刈田から発生したと考えられています。

頭部は比較的大きく、赤い放射状の手絡（てがら）が頭頂と額から鬢（びん）にかけてあたりに描かれる華やかなものと、飾りのない黒いおかっぱ頭があります。切れ長の目に鼻筋のとった大人っぽい女性の表情の描彩が印象的です。胴模様は重ね菊や菊から変化した模様が多く描かれますが、そのほかにも、梅・桜・井桁・木目など多彩な描彩パターンを有しています。また、牡丹・蝶・松葉・あやめなどの胴模様は、背面にワンポイントとして描かれることが多くあります。

